

【環境】6) 魚道は、土砂がたまったり、流木が詰まることがあるので、管理すべき。

支川などで、砂防えん堤等の横断工作物等の影響で遡河性魚類の遡上がさまたげられている箇所があることから、関係機関と調整・連携したうえで、天塩川流域全体における魚類等の移動の連続性をモニタリングしつつ、図-1 に示すような横断工作物や樋門地点等における新たな魚道等の整備や既設魚道の適切な維持管理に連携して取り組むなど、サクラマスが継続的に再生産できる河川環境の改善に努めます。

また、河道や河川管理施設をはじめ、流水や河川環境等について定期的にモニタリングを行い、その状態の変化に応じた順応的管理（アダプティブ・マネジメント）に努めます。

天塩川流域の河川横断工作物等について	
48-5-1-5 治水	48-5-1-5
河川延長3.5kmを超える河川について、産卵可能域を現地調査した結果、魚道なし(遡上困難)と判定された箇所	
砂防・治山ダム	20箇所
床固工・落差工・護床工	101箇所
頭首工	12箇所
貯水池	12箇所
その他	21箇所
合計	166箇所
上記施設がある河川数:94河川	

図-1